

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
平成29年8月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕8月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス19 ～前月比8ポイントの改善～
- ◆ 売上高・販売価格等の主要調査項目D I 値が改善

〔Ⅱ〕8月の概況

当月の景況動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転2、悪化21で、D I 値はマイナス19となり、前月のD I 値マイナス27に対し、8ポイントの改善となった。

業種別の景況動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス23となり、前月比で2ポイントの改善、非製造業のD I 値はマイナス15となり、前月比で14ポイントの改善となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、可児工業団地、高山旅館の2業種(前月比+1業種)。

また、「悪化」と回答した業種は15業種(前月比-5業種)となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス13で前月比13ポイントの改善、販売価格D I 値はマイナス9で前月比5ポイントの改善、収益状況D I 値はマイナス25で前月比3ポイントの改善、資金繰りD I 値はマイナス10で前月比3ポイントの改善、雇用人員D I 値は0で前月比6ポイントの改善となり、5つの主要調査項目全てが改善という結果となった。

コメントを見ると、製造業では、「8月の出荷量は、前月比・対前年比ともに増加している。出荷量：前月比103.8%、前年同月比105.2%。(砕石生産)」、「可児工業団地全体の景況感は昨年8月より好調が続く。今回も「販売価格」以外はすべてプラスの指標。前月より減速したが、それでもハイレベルの好況感を維持。(可児工業団地)」など、プラスの内容が報告された一方で、「天候要因と景況感共に明るさが無く、クリアランスでの売上では粗利益が低下。(婦人子供服)」、「主力の外装モザイクタイルは軟調。首都圏はオリンピック関連で期待がある一方、VE提案で最終的にタイルが仕様から外れるケースも目立ち、見通しは不透明。(タイル)」など、マイナスの内容が報告された。

非製造業では、「仕事量は、岐阜地区では公共事業が多少増加したことを受け微増、飛騨地区では観光施設等で受注案件の増加があり増加となった。(鉄構造物)」、「8月の宿泊人員は、7月に続き8,192人(7.12%)の増加となり、4月からの累計では6月までの減少分を取り返し、累計で1,478名の増加となっている。(下呂旅館)」など、プラスの内容が報告された。

その他、製造業・非製造業両方より、「従業員の確保難をほとんどの企業が挙げている。(県金属工業団地)」、「物流輸送量は大きく変わらないが、乗務員不足により、輸送車両確保に苦戦する。その背景には輸送運賃が上昇しないことも輸送車両確保に影響を及ぼしている。(貨物運送事業)」など雇用についての課題を抱えているというマイナスの内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加18、減少31でDI値はマイナス13となり、前月のマイナス26に対し、13ポイントの改善となった。

売上高が増加した業種は13業種（前月比+4業種）あり、菓子、縫製（既製服）、家具、プラスチック、砕石生産、可児工業団地、青果販売、共同店舗（飛騨）、生花販売、高山旅館、理容・美容業、土木（岐阜地区）、電気工事である。

売上が減少した業種は22業種（前月比-5業種）あり、特に木材・木製品、紙・紙加工品、卸売業、商店街の区分で多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇5、低下14でDI値はマイナス9となり、前月のマイナス14に対し、5ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は4業種（前月比+1業種）あり、牛乳、刃物等金属製品（輸出）、生花販売、貨物運送（県域）である。

販売価格が低下した業種は10業種（前月比-3業種）あり、特に卸売業の区分で多かった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転5、悪化30でDI値はマイナス25となり、前月のマイナス28に対し、3ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は4業種（前月比+2業種）あり、菓子、可児工業団地、下呂温泉旅館、高山旅館である。

収益状況が悪化した業種は21業種（前月比±0業種）あり、特に卸売業、商店街、サービス業の区分で多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転1、悪化11でDI値はマイナス10となり、前月のマイナス13に対し、3ポイントの改善となった。

資金繰りが好転した業種は1業種（前月比±0業種）あり、可児工業団地である。

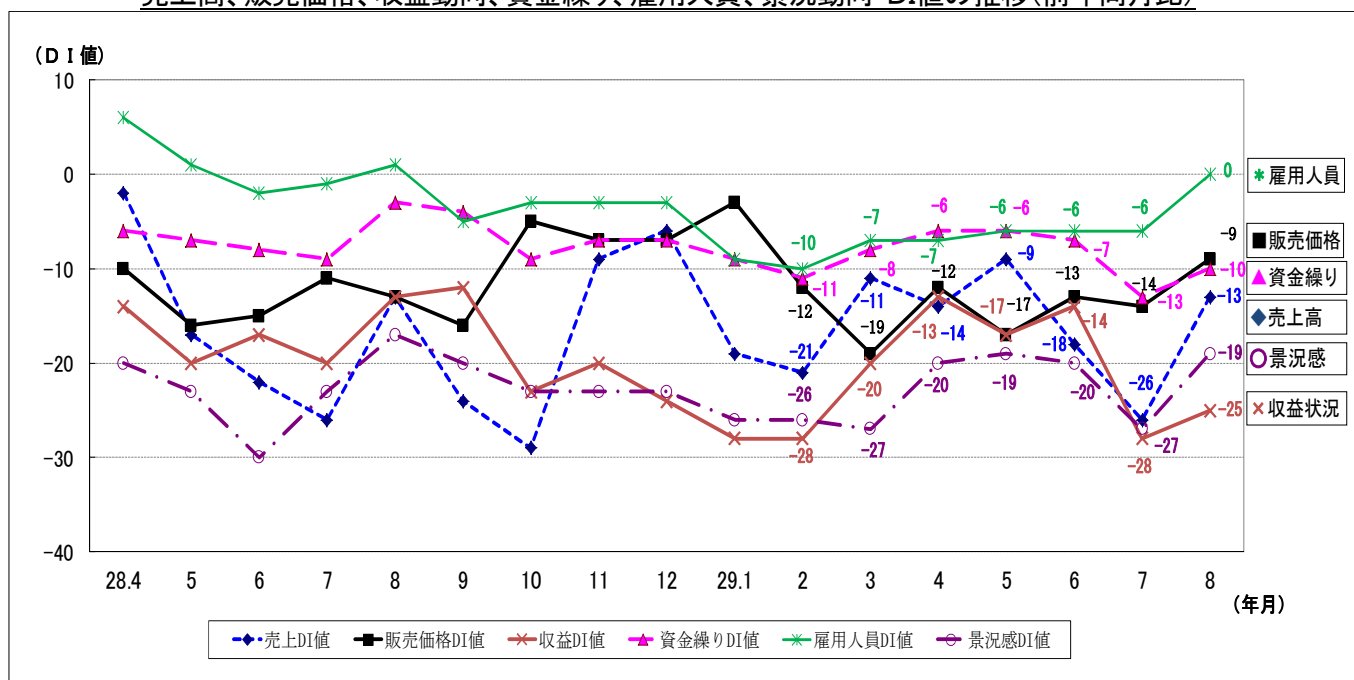
資金繰りが悪化した業種は8業種（前月比-2業種）となった。

雇用人員の動向は、前年同月比で好転7、悪化7でDI値は0となり、前月のマイナス6に対し、6ポイントの改善となった。

雇用人員が増加した業種は5業種（前月比+3業種）あり、菓子、米菓、県金属工業団地、可児工業団地、木造建築である。

雇用人員が減少した業種は5業種（前月比-1業種）となった。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (8月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	○	△	△	△	△
	食肉(国産)	△	△	△	△	△	△
	菓子	○	△	○	△	○	△
	米菓	△	△	△	△	○	△
	製麺	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	撚糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業	△	△	△	△	△	△
	毛織物	▲	△	▲	△	△	▲
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	▲	△	△	△	△	△
	婦人・子供服	▲	▲	▲	▲	△	▲
	縫製(既製服)	○	△	▲	▲	△	▲
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△
	家具	○	△	△	▲	△	▲
	東濃ひのき	▲	△	△	△	△	▲
紙・紙加工品	機械すき和紙	▲	△	△	△	△	△
	特殊紙	▲	△	▲	△	△	△
	紙加工品	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	△	△	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック	○	△	△	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	△	△	△	△	△	△
	タイル	▲	▲	▲	△	△	▲
	窯業原料	▲	△	△	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	▲	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砂利生産	△	△	△	△	△	△
	砕石生産	○	△	△	△	△	△
	鋳物	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(輸出)	△	○	△	△	△	△
一般機械	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
	メッキ	▲	△	▲	△	△	▲
	県金属工業団地	△	△	△	△	○	△
輸送用機器	可児工業団地	○	▲	○	○	○	○
	金型	△	△	△	△	△	△
輸送用機器	輸送用機器	▲	△	▲	△	△	△

凡例
 ○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	▲	△	▲	△	△	△
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	△	▲
	機械・工具販売	△	▲	△	△	△	△
小売業	青果販売	○	△	△	△	△	△
	水産物商業	▲	△	▲	△	△	△
	家電機器販売	△	△	△	△	△	△
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	▲	△	△	▲	△
	石油製品販売	△	△	△	△	△	△
	共同店舗(飛騨)	○	△	△	△	△	△
	生花販売	○	○	△	△	△	△
商店街	商店街(岐阜)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	商店街(大垣)	△	△	△	△	△	△
	商店街(高山)	▲	△	▲	△	△	▲
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	△
	長良川畔旅館	△	△	△	△	△	△
	下呂温泉旅館	△	△	○	△	△	△
	高山旅館	○	△	○	△	△	○

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	△	△	△	△	△	△
	広告美術	▲	▲	▲	△	△	▲
	旅行業	△	△	▲	△	△	△
	理容・美容業	○	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	○	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	▲	△	▲	▲	▲	▲
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	△
	鉄構造物	△	△	△	△	△	△
	電気工事	○	△	△	△	▲	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	△	△	△	△	△	△
運輸業	木造建築	▲	△	▲	△	○	△
	貨物運送(県域)	▲	○	▲	△	△	△
	軽運送	△	△	△	△	△	△
その他の非製造業	貸植木業	△	△	△	△	▲	▲

凡例	○ ⇒	[増加]、[上昇]、[好転]
	△ ⇒	[不変]
	▲ ⇒	[減少]、[下降]、[悪化]